

～下記の研究を行います～

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 外来がん化学療法を支える「薬剤師外来」の役割

【研究責任者】 植田裕美

【研究の目的】 京都医療センターでは外来でがん化学療法を開始される患者様を対象にした薬剤師外来が2016年8月に開設され、薬剤師が医師の診察前に患者様と面談し処方提案を行っています。薬剤師が介入することで、患者様の副作用症状を緩和することができたか調査します。

【研究の期間】 2016年8月1日から2017年7月31日

【研究の方法】 診療録を使用した後ろ向きの観察研究として実施します。

○対象となる患者様

2016年8月1日から2017年7月31日に薬剤師外来を受診された患者様。

○研究に用いる資料・情報の種類

薬剤師外来の受診回数、薬剤師が医師に処方提案した内容、処方提案後の変更割合、処方変更後の症状改善率について診療録を使用して調査します。

【研究の資金源】 特になし

【利益相反】

臨床研究における利益相反(COI:Conflict of interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではありませんが、利益相反については、当院の利益相反審査委員会で適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

◎資料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんの診療等に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 薬剤部  
〒612-8555 京都府京都市伏見区深草向畑町 1-1  
電話 (075) 641-9161 (代)  
研究責任者 薬剤部 植田裕美